

今年度末で退職・離任される教職員からのメッセージ

- 約3年間、大宅中学校でお世話になりました。この大宅中学校では、本当に多くのことを経験させていただきました。初めての担任・初めての卒業生…。この3年間、毎日が充実した日々でした。こうして、充実した日々を過ごすことができたのは、地域の皆様や保護者の皆様、そして、大宅中学校の皆さんのお支えのおかげです。本当にありがとうございました。皆さんと過ごせた時間は、僕にとってかけがえのない時間でした。もう少し、皆さんとの時間を過ごしたかったです。しかし、「出会い」があるから「別れ」があるように、皆さんにも新しい「出会い」がやってきます。これからやってくる「出会い」を大切にして中学校生活を過ごしてください。4月からの新たな生活に向けて、勉強や部活、趣味や習い事など、何事も全力で取り組み、楽しんでください。皆さんと出会えたことに感謝します。ありがとうございました。またいつかお会いできることを楽しみにしています。

武市 勲平 (国語科)

- 5年間お世話になりました。長いようで短い、大宅での5年間でしたが毎日が充実し、たくさんのこと学ばせていただきました。その中でも特に、人とのつながりを学んだ5年間でした。一人の力では、なかなかできない事も何人も集まれば可能になる。そして、何かを達成した時に喜びは一人の時よりも大きくなる。そのようなことを生徒みなさんの日々の活動を通して感じることができました。

また、私自身もたくさんの方々の支えによって、この5年間で成長できたと思います。次の学校でも、大宅中学校で学んだたくさんのことを大切にし、さらに成長していきたいと思います。

最後になりましたが、大宅中学校に関わる皆様のこれからのご活躍とご多幸をお祈り申し上げます。5年間ありがとうございました。

坪井 基至 (社会科)

- 2年間という短い間でしたが、ありがとうございました。大宅中学校で過ごした2年間で多くのことを経験し、学ぶことができました。新3年生の卒業の場に一緒に立てないのが大変心苦しいですが、皆さんのがんばりを目標に、上を向いて日々jumpしていた姿を最後の最後まで継続して自分たちの力につなげていってください。

男子バスケットボール部の皆さんとは最後の数ヶ月と一緒に過ごせないのがすごく歯痒く、悔しい気持ちでいっぱいです。しかし、皆さんはすごく成長してくれました。新型コロナウィルスの関係で見通しの持てない状況が続いているが、春の大会、夏の大会で活躍してくれることを心より願っています。

竹村 麗 (理科)

- この3月15日、卒業した3年生のみなさん、みなさんが私の最後の教え子となりました。そして、1年1・3組のみなさんも…。毎年、学級開きの日にみんなで書いている寄せ書きに、『近江満江 LOVE』とあった日から10年が経ちました。

私の言うことは、ワンパターン(?)…。あたりまえがあたりまえ、一所懸命、迷った時はしんどい方をとる、○に近い△を生きる、できるかできないかじやなくてやるかやらないか、イメージの力、そして、“夢はでっかく根は深く”…。見えない根っこ（心）が大切です…。

保護者のみなさま、地域のみなさま、10年間ありがとうございました。
お元気で。さようなら。

近江 満江（体育科）

- 大学を卒業してすぐに、この大宅中学校にきて、先生となりました。あれから3年、ここで本当に多くの学びを得ました。

私がみなさんに対してできたこと、伝えられたことは本当に少なかったかもしれません、この大宅中学校のみなさんとともに過ごし、ともに学んだ経験を、次の新たなステージでも存分に発揮していきたいと考えています。

最後に一つ、みなさんに伝えたいことは、「自分にとっての理想を持ち続けてほしい」ということ。理想は自分の“芯”となり、原動力となります。周りから見れば小さな、簡単なことでもいい。たとえ挫折して、途中で理想を変えてもいい。理想を持ち続けることで、成功だけではなく、数多くの失敗や挫折も、すべてが自分にとって意味のあるものとなります。「自分の理想」をもって、周りの頼れる人や仲間を大切にしながら、一歩ずつ挑戦し続けてください。

みなさんことをこれからも陰ながら応援していきたいと思います。ありがとうございました！

野町 祐輝（体育科）

- 1年間、大宅中学校で英語を担当し、お世話になりました。ありがとうございました。今年度の最初は、いきなり臨時休校に入り、皆さんになかなか会えない中で始まりました。初めてのことやわからないことが多くて不安でしたが、休校期間が明けて実際に学校生活がスタートすると、どんなことでも、元気に一生懸命取り組む皆さんの姿が見られて良かったです。「学校が変われば文化も違う」ということを感じ、授業でも、部活動でも、行事でも、昨年度とまた違った経験ができました。

皆さんと過ごした1年間は楽しくて、本当にあつという間だったような気がしています。大宅で皆さんに会えて良かったです。この1年を無事に終えることができたのは、皆さんのおかげだと思います。これからも、それぞれのペースでコツコツ頑張ってください。全力で取り組んだことは、必ず結果につながります！ここでの生活に慣れ始めた頃に、大宅中学校を離れるのは寂しいですが、次の学校でも、大宅で学んだことを活かして頑張っていきます。本当に、ありがとうございました！

上住 祐介（英語科）

○ 3年間ありがとうございました。あつという間の3年間でした。育成学級の担任として日々の学習や活動を生徒のみなさんが頑張っている姿を見て、とても勇気をもらっていました。そして、担任業務以外でも、いろいろなことを経験し、成長することができました。様々なことで悩んだこともありましたが、大宅中学校のみなさんの笑顔に救われてきました。また、部活動では吹奏楽部の顧問をさせていただき、部員と一緒に楽しい音楽を奏でることができました。わたしにとって、本当に幸せな時間でした。たくさんの思い出をありがとうございました。わたしも新しい学校で頑張るので、みなさんも頑張ってくださいね！

西村 結奈（育成学級担任）

○ 大宅中学校で6年間勤務しました。生徒の皆さんのが成長する姿に元気をもらっていました。これからも大宅中学校で充実した学校生活を過ごしてください。
そして保護者の皆様、地域の皆様、日ごろからご理解とご協力をいただきどうもありがとうございました。

山田 亜希（学校運営主査）